

アンケート（感想）より *一部抜粋

スタッフや保護者の方の生の声を聞くことができるとても良かったと思うと同時に、これからの教育のあり方を考えさせられました。

素晴らしい学校がこんなに近くにできたことをうれしく思います。子どもたちのために楽しい学校を目指しているスタッフの方々、自分も何か関わりたい気持ちになるほど刺激をもらいました。今度はまおい学びのさと小学校の子どもたち会ってみたいです。堀先生のお話も貴重でした。ありがとうございました。

オルタナティブ教育としての魅力は確実にあり、徐々に成果が上がってきていると実感できた。「あなたはどーしたいの？」というスタッフからの問がとても重要であると感じた。「失敗する自由の保障」こそ、成長の源泉であると大いに賛同したい。公立校でも自分のよさや可能性を認識して、あらゆる他者を価値ある存在として尊敬し多様な人々と協働できることは大いに実現できるしそこを私学から学びながら進めていきたいと思う。

子どもたちの可能性、学びの自主性の重要性についても「やはりそうなのか～」と感じたところです。当町でも少しでも良いところを取り入れながら子どもたちが楽しく学べるような方向で何かできないか考えていきたいと思いました。

体験から得られるさまざまな学びがあることを知り、難しいかもしれませんが公立校にもこういったものを増やしていくべきだと考えました。将来教員を目指している身として、保護者の方や教育者等さまざまな方とディスカッションができたことはとても有意義でした。

思いがけず堀さんの話が聞けて良かったです。この学校の自由教育という視点が多くの公教育を含めた人たちに関心を集めているんだなあと感じました。自殺者、学校に行かないと決めた子どもたちが増加しているなか、自分のままだに生きることを教え、考えて、意見を言えるということが本当に必要だと思います。

このような素敵な環境で育った子どもたちはどんな大人になるのだろうと想像するだけでわくわくするようなお話しでした。また、子どもたちとスタッフさんとのエピソードに心温まりました。

教育に興味のあるさまざまなバックグラウンドを持つ方とお話しできて良かったです。

教育関係者、保護者、進学予定の方、地域の方々などさまざまな立場のみなさんとディスカッションができたことがとても新鮮で勉強になりました。これからも続けて欲しいと思います。

想像以上に楽しく参加させていただきました。ディスカッションの経験もなく不安でしたが、子どもに願うだけでなく親がまず変わらなくてはと思い挑戦させていただきました。グループディスカッションでもスタッフの方の対応が素晴らしく、意見をまとめたり引き出されたりさまざまな質問に質問以上の答えをしていただいて学校のことがよくわかりました。再来年の入学希望なのですが不安も解消されました。堀さんのお話やグループ代表の発表内容では家庭での子どもに対する接し方もあらためて考えさせられました。再来年が本当に楽しみです。ありがとうございました。

現在の教育について行き詰まりを感じていてどうにかしなければと思う方がたくさんいるのだなと感じました。今の時代を生き抜くための力を子どもたちに身につけてもらうにはどうすればいいのか、子どもの学ぶ力を信じて待つことの大切さなどいろいろヒントをいただきました。特に「子ども不信」という言葉にギクリとしました。親も学び続けなければならないと思いました。

子ども中心の教育、自由の中からやりたいと思う気持ちを引き出すということは途方もなく大変なことに感じるけど、とても重要なことだと思いました。ただ今の日本で普通に公立の教育を受けてきた子どもたちと社会や高校で交わるとき、どのような反応が起こるのか、期待よりも不安がやや勝る気持ちはあります。